

令和4年10月13日(木) 15:00~17:00  
市役所6-3会議室

1. 令和4年度 上半期 専門部会 実施報告について

令和4年度 上半期 専門部会の実施報告をした。(資料1)

■第1回専門部会(虐待防止について)についての質問、意見

- ・相談支援において、虐待に発展し得るケースが散見されるため、関係機関と情報共有することで、早期発見していくことが大切だと感じた。
- ・障がい者の支援機関と、高齢者の支援機関と一緒に協議できたことに意義があった。
- ・担当職員は移り変わって行くため、年度当初に顔合わせできてよかった。
- ・出席者には、障がい者の支援機関と、高齢者の支援機関が常に連携していく必要があるということを感じてもらえたと思う。
- ・支援対象の個人だけでなく、家族全体を支援していく必要があると感じた。

■第2回専門部会(地域生活支援拠点等「体験の機会・場」について)についての質問、意見

- ・体験の機会・場の提供にあたって、出席したサービス提供事業所より、前向きに検討するといった意見も聞かれたため、一定の効果はあったと思われる。
- ・どのような人が利用するのか、実例があって良かった。

■第3回専門部会(強度行動障がいの支援について)についての質問、意見

- ・具体的な支援や対応についての話がもっとあれば良かった。
- ・激しい行動障がいが見れる前に環境調整等の支援をしておくことが大切との話があったため、支援に活かしていくべきだと思った。

■第4回専門部会(医療的ケア児について)についての質問、意見

- ・当事者の家族の思いを聞くからこそ出席者に伝わるものがあったと思う。
- ・医療的ケア児の支援の経験が乏しい支援者からも、今後の支援に対して前向きな発言が聞かれたため、支援機関が増えることにつながるのではないかと感じた。
- ・出席者のアンケートにて、寄り添う支援への要望があったようだが、専門部会ではどのような話題であったか。また、今後岐阜市としてどのように対応していくか。  
→相談支援専門員が、医療機関とのつながりが不十分であると感じているという話題があった。岐阜市としては、今年度高度専門分野相談支援事業受託機関にて、医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修会を開催し、医療的ケア児等コーディネーターや、相談支援専門員を対象に、連携について考える機会を設けることを予定している。

■第5回専門部会(就労支援事業所説明会)についての質問、意見

- ・事業所ブース数に対して参加人数が少なく、時間を持て余す事業所もみられたため、今後の開催方法の検討に活かしていけると良い。
- ・事業所ブース数に対して参加人数が少なく、より広い会場で開催すると良いと思った。
- ・就労先の悩みに関する相談を受けたため、今後も福祉相談ブースが必要だと感じた。
- ・事業所ブース同士、互いの相談の声で、会話が聞き取りにくいことがあった。

## 2. 地域生活支援拠点等の運用状況の検証について

令和3年度 岐阜市地域生活支援拠点等【運営評価シート】協議会評価のまとめについて報告し、承認を得た。

<質問、意見>

- ・地域生活支援拠点等の認知は不十分であるため、普及啓発活動が必要。
- ・岐阜市地域生活支援拠点等は面的整備を進めているため、コーディネーターの役割が重要。他の市町村を参考にし、いずれは岐阜市ではなく他機関で担えることが理想だと思う。

## 3. 日中サービス支援型指定共同生活援助事業（定期評価）について

日中サービス支援型指定共同生活援助事業（定期評価）報告・評価シートについて説明した。

<質問、意見>

- ・人員配置や利用者状況だけでなく、1年の動きが細かくわかるようなシートがあると良い。
- ・要望や助言に対応しているかという項目で、協議会の要望事項に対して事業所が漏れなく回答しているかどうか確認できると良い。
- ・ワムネットに記載されている事業所の情報を流用できると良い。
- ・提出書類だけでなく、実地指導時に直接確認もして評価してほしい。  
→現状、実地指導は3年に1回、定期評価は1年に1回行っているが、今後検討したい。
- ・事業所の説明については、各事業所記載内容が整理されていると評価しやすい。
- ・実際に事業所を直接見て評価するのか。  
→実地指導にて見に行くことはあるが、定期評価では見に行っていないため、検討したい。